

動物公園の冬の風物詩「サル山のたき火」を開催します ～今年も大寒に合わせて実施します～

千葉市動物公園では、現在24頭のホンドザルを飼育しており、冬の寒い季節は暖を取るために数頭で身を寄せ合って過ごしています。

そこで、1月20日（火）の大寒に合わせ、サル山の中でたき火を行い、サルに暖を届ける「サル山のたき火」を開催しますので、お知らせします。

1 実施日時（全4回）

令和8年1月20日（火）、31日（土）、2月15日（日）、28日（土）

各回 11:00～15:00

※各日11:30～11:45に飼育員による説明と煮たサツマイモの給餌を行います。

※雨天、強風等の場合は中止となります。

2 場所

千葉市動物公園内 ホンドザル展示場 サル山
(若葉区源町280)



昨年度の「サル山のたき火」の様子

3 内容

サル山の中でたき火を行い、サルたちに暖を届けます。たき火に対してどのような反応を示すのか、また、サルたちが暖を取るために集まつくる様子などをご覧ください。

4 その他

サル山でのたき火は平成29年度から開始し、今年で9年目となります。

<参考>ニホンザル（ホンドザル）について

- ・種目 灵長目オナガザル科
- ・体長 オス53～60cm、メス47～55cm
- ・分布 北海道を除く日本
- ・特徴

ヒトを除く靈長目の中では、最も北に生息していて、複数のオスとメスを含む群れで暮らしています。尾は短く、体毛は茶褐色や灰褐色をしています。顔のほお袋には、食べ物を一時的に溜め込んでおくことができます。

- ・当園での飼育数
オス10頭、メス14頭 計24頭